

2020年1月28日
株式会社 電通グループ
代表取締役社長執行役員 山本 敏博
(東証第1部 証券コード:4324)

電通グループ、米国「デジタル Pi 社」買収により、 B2B 領域のマーケティングオートメーション関連サービスを強化

株式会社 電通グループ（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746 億 981 万円、以下「当社」）は、連結子会社で海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」※を通じて、米国の B2B 領域マーケティングオートメーション・コンサルティングサービス会社「Digital Pi, Inc.」（本社：ダラス市、CEO: Ryan Vong、以下「デジタル Pi 社」）の株式 100%を取得しました。

2013 年に設立されたデジタル Pi 社は、米国における B2B 領域のデジタルマーケティングエージェンシーとして成長を遂げてきました。現在では 50 名の従業員を抱え、中規模から大規模まで数多くの顧客企業に対して、有力なマーケティングオートメーション・プラットフォームである Adobe Marketo Engage の実装、コンサルティングからデマンドジェネレーション（見込み案件の発掘・創出）、そのキャンペーン運営に至るまで、顧客体験とエンゲージメントの向上に資する B2B 領域の専門サービスを提供しています。

本件買収の目的は、当社のグローバルネットワーク・ブランドの 1 つで、テクノロジーを活用したデータ分析に強みを持つデータマーケティング会社「Merkle」（マークル社、本拠地：米国メリーランド州）の B2B 領域における事業規模の拡大とサービス機能の強化にあります。今後当社は、デジタル Pi 社のブランド呼称を「Digital Pi, a Merkle Company」（デジタル Pi・ア・マークル・カンパニー）へと改称し、マークル社が戦略的に重視するマーケティングオートメーションやデマンドジェネレーションのケイパビリティを拡張することで、より競争力の高いデータマーケティングや CRM サービスを提供していきます。

なお、本件が当社の 2020 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微です。

※電通グループの海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」（本社：英国ロンドン市）は、10 のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。10 のブランドとは、Carat、Dentsu (Dentsu Brand Agencies)、dentsu X、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeum を指します。

【デジタル Pi 社の概要】

正式社名：Digital Pi, Inc.（デジタル Pi 社）

本社所在地：米国テキサス州ダラス市

設立：2013 年 4 月

株主構成：株式取得後、電通イージス・ネットワーク社 100%

収益(Revenue)：810 万ドル（約 8.8 億円）（2019 年 12 月期）

代表者：Ryan Vong (CEO)

従業員数：50 名

事業内容：B2B 領域のマーケティングオートメーションに関するコンサルティングサービスを提供
以上